



68 水口東高校 合唱部

部長 **黒木みなみ**さん(前列中)
 副部長 **奥村真歩**さん(前列右)
 副部長 **吉澤菜摘**さん(前列左)
 後列 合唱部の皆さん

夢は一生歌い続けること

水口東高校合唱部は、全国高等学校総合文化祭への出場、県合唱コンクールで金賞、関西合唱コンクールで銅賞に輝くなど、この夏大活躍しました。

11月開催の滋賀県高等学校総合文化祭と滋賀県高校生声学コンクールに向けて、練習に励む合唱部の皆さんを訪ねました。(本文中敬称略)

Q 東高合唱部はどんなクラブですか？
 黒木：私たちは12人で活動していますが、中学校(水口東中)の合唱部とも一緒に練習することもあります。
 奥村・吉澤：みんな熱心で仲の良い、楽しいクラブですよ。

Q 県、関西、全国でめざましい活躍ですね
 黒木：ありがとうございます。良い合唱ができるように、毎日放課後と、土曜日にも練習するようにしています。

Q 皆さんは、以前から合唱に興味をお持ちだったのですか？
 黒木：高校から合唱を始めた人も多そうですね。以前は、テニスなどの体育会系の部活をしていた子もいます。
 奥村・吉澤：吹奏楽をやっていましたが、楽器ではなく自分の声で直接表現できるので、合唱に興味を持ちました。

Q 合唱を始めて良かったことは？
 黒木：とにかく歌うことが楽しくて、毎日が充実しています。
 奥村・吉澤：歌っていると楽しいですし、合唱を続けることで、顎やほほの筋肉が鍛えられ、素敵な笑顔をもたらすように思います。

Q 今後の目標は？
 黒木：もちろんコンクールで賞をもらえることは嬉しいですが、みんなで歌えること自体が楽しいですね。
 3人：このままずっと歌い続けていきたいというのが、一番の目標ですね。けれども、まずは来年の定期演奏会を成功させたいです。



◀コンクールに向けて毎日練習中

※第一回定期演奏会が3月30日(土)、碧水ホールで開催予定です。



▲和やかな中にも真剣な試合風景

ゲートボールで育んだ親睦

第16回水口かんぴょうの里杯親善ゲートボール大会が10月2日、スポーツの森で、第10回忍者の里杯親善ゲートボール大会が10月10日、甲南グラウンドでそれぞれ開催されました。両大会とも毎年、県内外から多くの参加者で賑わいます。忍者の里杯大会では今大会、伊賀市、亀山市のチームが揃って顔を合わせました。県境を越えた隣のまちと交流を深められたことは意義深いと関係者は話していました。



▲多くの参加者で賑わったかんぴょうの里杯

チームで10時間を完走

第28回10時間&5時間耐久リレーマラソン大会

第28回10時間&5時間耐久リレーマラソン大会が10月7日、甲賀中央公園を中心にした周回コースで開催され、10時間の部、5時間の部を合わせて200チーム以上、約1500名が参加されました。

この大会は、地元の人々が中心の10耐実行委員会によって主催され、全国のファンから心温まる大会だと親しまれています。特に、毎年恒例の豚汁の炊き出しは好評で、これ目当てで参加するチームも。炊き出し以外にもスタミナを維持するため、チームでバーベキューやおでんなどの料理を作ることもこのレースの醍醐味です。

やっと迎えたゴールでは、参加者が最後までがんばった充実感に、チームの壁を超え、肩を抱き合って健闘をたたえ合いました。



▲チーム全員でゴール



元気なまちかど

新しい競技場で12個の新記録が誕生

第8回甲賀市小学生陸上記録会が10月3日、リニューアルされたスポーツの森陸上競技場で初めて開催され、市内の小学校23校から946名の6年生が参加しました。

大会長の田中義一先生は「県内屈指の運動施設となったこの競技場で、伝説の一步を踏み出してもらいたい。」と述べられ、参加した生徒たちはその言葉に応えるように12の新記録を生み出しました。「まるで飛び上がるように軽く走ることができた」とこやかな生徒の姿に田中先生は「6年間のしめくりになるはず。この経験を大切に、大きい夢を持ってほしい。」と目を細められていました。

第8回甲賀市小学生陸上記録会



▲新しい競技場で白熱する各小学校対抗リレー

地域の輪を深める太鼓踊り

土山町青土と山女原で10月7日、伝統の太鼓踊りが行われました。ふたつの太鼓踊りは、県から選択無形民俗文化財の指定を受けています。

この日山女原では、数年ぶりに行われた太鼓踊りが文化庁の事業により撮影が行われ、祭りの主役である地域の子どもたちも古式にのっとった伝統を練習どおり披露していました。



▲青土の集落を練り歩く踊り子の列



▲独特の面をつけて舞う山女原太鼓踊り▲

元オリンピック選手の池谷さんが雲井小を訪問

信楽町の雲井小学校に10月10日、2度のオリンピック体操競技でメダルを獲得した池谷幸雄さんが訪れ、140名余りの全校生徒に体育の特別講座を開きました。

オリンピックのメダリストが直接行う授業に、高学年だけでなく1年生や2年生の皆さんも池谷さんの話をよく聞き、柔軟体操や前転運動など一生懸命に取り組んでいました。

池谷さんは、本物のメダルを生徒たちに見せながら「どんなことでもいいので夢と目標を持って、一生懸命実現させようとしてください。僕にとってその結果がこのメダルです。」と未来に向けて目標を持つことの大切さを話され、生徒たちも大きく頷ぎました。



▲子どもたちに夢を語る池谷さん